

国語科学習指導案

指導者 大内 貴弘

1 単 元 名 くらべてびっくり、いろいろな赤ちゃん～きいて、わたしのびっくり！！～

2 学 年 ・ 組 第1学年1組 32名

3 日時・場所 平成26年1月29日（水） 5校時 1－1教室

4 教 材 名 「どうぶつの赤ちゃん」 光村図書 一下 ともだち

5 単元について

一年生の児童にとって動物の世界は興味がかきたてられるものである。特に赤ちゃんについては、どの子もかわいいと素直に反応する。この教材は、ライオンとしまうまの生まれたばかりの様子と、大きくなっていく様子を読み、比較することが大切である。その学習を通して、児童が知っている成長したライオンやしまうまの姿からは想像がつかないくらい、それぞれの赤ちゃんの時の様子が異なり、大きな発見があると考ええる。そこで、比較していくことで、それぞれの特徴を改めて見つめ直し、児童の知的好奇心をさらに喚起することと考える。さらに、学習を広げる課題であるカンガルーの赤ちゃんを読み取り、生まれたばかりの姿が想像もつかないような姿に驚くことが予想される。「赤ちゃん」という言葉からイメージするのは、一般に人間の赤ちゃんであると思われる。このように児童は、いろいろな動物の赤ちゃんに触れるたびに、自分の成長と比較して文章を読んでいくと考える。そこで自分の成長の様子や変化などを家族の人に聞いたり、写真などを見たりして生まれたばかりの様子や大きくなっていく様子を書くことに新たな視点を増やし、読み深めていくことをねらいとしている。

本学級では理解を深めるために、必要に応じてICT機器（実物投影機・国語デジタル教科書・デジタルビデオ）を活用して学習を進めている。主に学習の動機づけでは、国語デジタル教科書のくじらぐもの範読を聞くなど、課題の提示では、実物投影機で図画工作の作品の見本を見せたり、算数の引き算のブロック操作を共有したり、モデル・失敗例の提示では、デジタルビデオで体育の鉄棒運動や長縄跳びの様子を見たりなど、いろいろな場面で情報の共有のために活用している。そのため児童は、聞くことだけでなく視覚からの情報も入り、集中して理解でき、学習する力がついてきた。

今回の国語の学習では、動物の赤ちゃんの絵だけでなく、映像を見ることで具体的に動物の赤ちゃんの様子が伝わり、興味関心が高まると考える。また、国語の上で学習した「くちばし」や「みつけた」などの、問いの文と答えの文との関係についてデジタル教科書で思い起こすための手立てとして、今回の単元でも活用していく。

●単元の位置づけ

月	単元	指導事項	言語活動
6月	くちばし	イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。 オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。	ウ 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。
9月	みつけた	イ 時間的な順序や事柄の順序など	ウ 事物の仕組みなどについて

		を考えながら内容の大体を読むこと。 オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。	て説明した本や文章を読むこと。
1 1 月	じどう車くらべ	イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。 エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。 カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。	ウ 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。
1 月	どうぶつの赤ちゃん	イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。 エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。	エ 科学的なことについて書いた本や文章を読んで、感想を書くこと。

6 単元の指導目標

単元目標	○体験や知識と結び付けて説明文を読もうとしている。 ○順序などを考えながら内容の大体を読み、文章の中の大事な言葉や文を書き抜く。 ○必要な事柄を集め、主語と述語の関係に注意して、つながりのある文を書く。
指導事項	「C読むこと（1）」 イ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。 エ・文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（イ）」 カ・文の中における主語と述語との関係に注意すること。 キ・敬体で書かれた文章に慣れること。

7 評価規準

国語についての関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○科学的なことについて書いた本や文章を読んで、互いの思いや感想を分かち合ったり、感じ方や考え方を認め合ったりしようとしている。	○科学的なことについて書いた文章を読んで、強く興味をもったところや疑問に思ったところ、もっと読んで知りたいところなど、大事な言葉や文を書き抜いている。	○感想を表す言葉には様々なものがあることを知り、文章を書く際に用いている。

8 テーマとの関わり

「主体的に情報をつかみ、情報を生かして学び合う子の育成」

～豊かな学びにつなげる ICT 機器の活用と情報モラルの育成～

本単元で活用する I C T 機器は実物投影機と国語デジタル教科書とデジタルビデオである。これらの機器を児童の読解力や関心意欲を高めるためのツールとして活用したいと考えている。

本学級では理解を深めるために、必要に応じて I C T 機器（実物投影機・国語デジタル教科書・デジタルビデオ）を活用して学習を進めている。主に、意欲やイメージを高める場面・課題を明確にする場面・繰り返しによる定着を図る場面・モデルを提示する場面・情報を共有する場面などで活用している。特に国語科では、I C T 機器を使つての視覚的に分かりやすく、学級全体で情報を共有するために用いる使い方が本学級では理解を深めるための手立てとして有効である。

横浜市立すみれが丘小学校の情報教育目標

○情報化が進む社会の中で、主体的に情報を選択し、整理し、情報を創造、発信することのできる子を育てる。

	情報社会に参画する関心・意欲・態度	情報や情報機器を活用する能力	情報収集や情報機器に関する知識・理解
低学年 (ふれる)	・ 機器使用の決まりを守り、大切にしようとする。 ・ 互いの表現のよさを認め合おうとする。 ・ 自分の作品や調べた情報を進んで表現しようとする。	・ 情報機器の操作に慣れ、簡単な操作ができる。	・ 情報機器の主要な部分の名称を指摘することができる。
中学年 (なれる)	・ 進んで情報を集めようとする。 ・ 相手を尊重しながら情報を交換しようとする。	・ インターネットを使い、簡単な情報検索ができる。	・ 文字入力の方法を理解する。 ・ ブラウザの簡単な使い方を理解する。
高学年 (つかう)	・ 個人情報の大切さを知り尊重する。 ・ 著作権保護の大切さを知り尊重する。 ・ 情報発信に伴う責任をもとうとする。	・ インターネットを活用し必要な情報を収集できる。	・ ファイルやフォルダの階層構造を理解する。

9 単元の計画 (本時 1 2 / 1 3)

次	時	児 童 の 活 動	教師の支援 (☆) と評価 (◎)
一	1	① 動物の赤ちゃんについて知っていることやイメージ、飼育した経験のエピソード等を自由に発表する。 ② 範読を聞いて、感想を書く。 ・ 話の大体をつかむ。 ・ 初めて知ったこと、驚いたこと、おもしろいと思ったことなどの感想を書く。	☆数種類の動物の赤ちゃんの映像を見て、興味・関心を喚起する。(デジタルビデオ) ◎体験や知識と結び付けて発表しようとしている。【関】(発言内容) ☆テレビに挿絵を提示し、挿絵を見ながらわかりづらい語句を確認する。(デジタル教科書) ◎初めて知ったこと、驚いたこと、おもしろいと思ったことなどの感想を書いている。【読】(ワークシート)

		③本単元の学習の見通しをもつ。	☆「赤ちゃんブック」を作って、保護者に伝えるという目標をもたせて、意欲を高める。
二	2	④「問いの文」の意味を振り返る。 ・デジタル教科書で既習の教材を振り返り、問の文を捉える。 ・「問い」の意味を確認する。 ・「問い」－「答え」の関係を確認する。 ⑤「どうぶつの赤ちゃん」の問いの文を考える。 ・問いの文に黒鉛筆でアウトラインを引く。 ・赤ちゃんブックに問いの文を書く。	☆「じどう車くらべ」の学習を振り返り、「問い」があれば「答え」があるということを確認する。問いと答えの文章に、マーカーで色を付けておく。「じどう車くらべ」では、問い＝黒、仕事＝赤、つくり＝青（デジタル教科書） ◎問いの文章を正確に読み取ることができる。（読）（教科書のアウトライン）
	3	⑥ライオンの赤ちゃんの「生まれたばかりのようす」と「大きくなっていくようす」を読む。 ・生まれたばかりの様子が書かれている文に、赤鉛筆でアウトラインを引く。 ・大きくなっていく様子が書かれている文に、青鉛筆でアウトラインを引く。 【うまれたばかりのようす】 ●子ねこくらいの大きさ。 ●目や耳はとじたまま。 ●よわよわしくておかあさんにあまりにいていません。 ●「じぶんでは」あるくことが「できません。」口にくわえてはこんでもらうのです。 【大きくなっていくようす】 ●生まれて二か月ぐらいはおちちだけのんでいます、やがて、えものをたべはじめます。 ●一年ぐらいたつと、「じぶんで」つかまえてたべるようになります。	☆ライオンの具体的なイメージをもたせるため、動作化したり、等身大の大きさのものを用意したりする。 ☆「生まれたときの大きさ」「目や耳のようす」「おかあさんとくらべて」「いどうしゅだん」「おちちのきかん」「じぶんでたべものをとってたべるきかん」の観点で整理していけるよう、児童の発言を板書する。 ☆挿絵を拡大したり動作化をしたりして「子ねこぐらい」「口にくわえて」等の語句の具体的なイメージをもたせる。（デジタル教科書） ☆「二か月」「一年ぐらい」などの、時間の経過を表す言葉に着目して読み取らせる。必要に応じて挿絵を拡大したり動作化をしたりする。（デジタル教科書） ◎文章を読み取り、どこからどこまでに何が書かれているかを理解している。（読）（ワークシート）
	4	⑦「じぶんでは」と「じぶんで」が入っている文にピンクの鉛筆でアウトラインを引く。 ●「じぶんでは」あるくことが「できません。」口にくわえてはこんでもらうのです。	☆「じぶんでは」と「じぶんで」の後にどんなことが書いてあるか確認し、「じぶんでは…（否定）」「じぶんで…（肯定）」をおさえるようにする。

	●一年ぐらいたつと、じぶんでつかまえてたべるようになります。	◎目的に応じて、大事なところを書きぬくことができる。(読)(ワークシート)
5	⑧ライオンのうまれたばかりのようす・おおきくなっていくようすを比較し、感想を書く。 ⑨しまうまの赤ちゃんの「生まれたばかりのようす」と「大きくなっていくようす」を読む。 ・生まれたばかりの様子が書かれている文に、赤鉛筆でアウトラインを引く。 ・大きくなっていく様子が書かれている文に、青鉛筆でアウトラインを引く。 【うまれたばかりのようす】 ●やぎぐらいの大きさ。 ●目はあいていて、耳もぴんとたっています。 ●おかあさんにそっくりです。 ●生まれて三十ぷんもたたないうちに、じぶんでたち上がります。 ●つぎの日には、はしるようになります。 【大きくなっていくようす】 ●おちちだけのんでいるのは、たった七日ぐらいのあいだです。 ●そのあとはおちちのみますが、じぶんで草もたべるようになります。	◎ライオンの「うまれたばかりのようす」「大きくなっていくようす」を読み取り、進んで感想を書こうとしている。(関) ☆しまうまの具体的なイメージをもたせるため、動作化したり、等身大の大きさのものを用意したりする。 ☆「生まれたときの大きさ」「目や耳のようす」「おかあさんとくらべて」「いどうしゅだん」「おちちのきかん」「じぶんでたべものをとってたべるきかん」の観点で整理していけるよう、児童の発言を板書する。 ☆「生まれたばかり」「たった七日」「そのあと」などの、時間の経過を表す言葉に着目して読み取らせる。必要に応じて挿絵を拡大したり動作化をしたりする。(デジタル教科書) ◎文章を読み取り、どこからどこまでに何が書かれているかを理解している。(読)(ワークシート)
6	⑩「じぶんでは」と「じぶんで」が入っている文にピンクの鉛筆でアウトラインを引く。 ●生まれて三十ぷんもたたないうちにじぶんでたち上がります。 ●そのあとは、おちちのみますが、じぶんで草もたべるようになります。 ⑪しまうまのうまれたばかりのようす・おおきくなっていくようすを比較し、感想を書く。	☆「じぶんでは」と「じぶんで」の後にどんなことが書いてあるか確認し、「じぶんでは…(否定)」「じぶんで…(肯定)」をおさえるようにする。 ◎目的に応じて、大事なところを書きぬくことができる。(読)(ワークシート)
7	⑫カンガルーの赤ちゃんの「生まれたばかりのようす」を読み取り、進んで感想を書こうとしている。(関)	☆一円玉や挿絵を活用して、カンガルーの赤ちゃんの「うまれたばかりのようす」を読み取り、進んで感想を書こうとしている。(関)

		りのようす」と「大きくなっていくようす」を読む。 ・生まれたばかりの様子が書かれている文に、赤鉛筆でアウトラインを引く。 ・大きくなっていく様子が書かれている文に、青鉛筆でアウトラインを引く。 【うまれたばかりのようす】 ●一円玉ぐらいの大きさ。 ●目も耳もどこにあるかまだよくわからない。 ●小さなまえあしでおかあさんのおなかにはい上がります。 ●じぶんの力でおなかのふくろにはいります。 【大きくなっていくようす】 ●ふくろの中で、おかあさんのおちちをのんで大きくなります。 ●六か月ほどたつと、ふくろのそとに出て、じぶんで草もたべるようになります。	んの軽さや大きさを実感させるようにする。 ☆「生まれたときの大きさ」「目や耳のようす」「おかあさんとくらべて」「いどうしゅだん」「おちちのきかん」「じぶんでたべものをとってたべるきかん」の観点で整理していけるよう、児童の発言を板書する。 ☆「～で～する。」という言い方に着目させ、大きくなっていく様子をとらえさせる。 ☆「はい上がる」「じぶんの力で」などの語句に着目して読み取らせる。必要に応じて挿絵を拡大したり動作化をしたりする。(デジタル教科書) ◎文章を読み取り、どこからどこまでに何が書かれているかを理解している。(読)(ワークシート)
8	⑬「じぶんでは」と「じぶんで」が入っている文にピンクの鉛筆でアウトラインを引く。 ●じぶんの力でおなかのふくろにはいります。 ●六か月ほどたつと、ふくろのそとに出て、じぶんで草もたべるようになります。 ⑭カンガルーのうまれたばかりのようす・大きくなっていくようすを比較し、感想を書く。	☆「じぶんでは」と「じぶんで」の後にどんなことが書いてあるか確認し、「じぶんでは…(否定)」「じぶんで…(肯定)」をおさえるようにする。 ◎目的に応じて、大事なところを書きぬくことができる。(読)(ワークシート) ◎カンガルーの「うまれたばかりのようす」「大きくなっていくようす」を読み取り、進んで感想を書こうとしている。(関)	
三	9	⑮「じぶんでは～」と「じぶんで～」の、後に続く言葉の意味を振り返る。 ・「じぶんでは…」は否定文 ●じぶんではあるくことができません。 口にくわえてはこんでもらうのです。 ●じぶんではおりょうりができません。 ●じぶんではあさおきられません。 ・「じぶんで…」は肯定文 ●一年ぐらいたつと、じぶんでつかまえてたべるようになります。 ●じぶんできがえることができます。	☆必要に応じて、ライオン・しまうま・カンガルーの内容を振り返る。(デジタル教科書) ☆「じぶんでは～」の後には否定の文、「じぶんで～」の後には肯定の文が入ることをおさえる。 ☆「三か月ぐらいたつと」「一さいぐらいになると」などの、言葉に着目して書くよう声掛けをする。

		●じぶんでおさをあらうことができます。 ⑩発表し合い、友だちのよかったところなど、感想を伝え合う。 ⑪自分が赤ちゃんだったころのことを家の人に聞く見通しをもつ。 ・どんなことを聞いたらいいのか考える。	☆生まれたときはできることが少なかったが、今ではできることがいっぱいあることに気付かせる。 ◎「じぶんでは～」「じぶんで～」を用いて、適当な表現の文章を書くことができる。(知)(ノート) ◎進んで感想を発表しようとしている。(関) ☆自分が赤ちゃんだったころのことを文章に書く見通しをもたせ、意欲をもたせる。 ☆資料・写真の準備等の協力を保護者に事前をお願いしておく。
四	10 11 12 (本時) 13	⑫聞いてきたことをもとに、人間の赤ちゃんについて話し合い、様子を理解する。 ・家の人から聞いたことを発表する。 ⑬「じぶんでは」「じぶんで」を用いて、人間の赤ちゃんの「うまれたばかりのようす」「大きくなっていくようす」を書く。 ⑭ライオン・しまうま・カンガルーの赤ちゃん、人間の赤ちゃんの「うまれたばかりのようす」と「大きくなっていくようす」をくらべ、感想をワークシートに書く。 21 感想を発表する。 22 前時に続き、発表の続きを行う。 ・一人ひとり発表を行う。 ・友だちの発表を聞いて、感想を発表する。 ・「赤ちゃんブック」を仕上げる。	☆児童の発言を「生まれたばかり」から段々と時間の経過とともに成長していく様子が分かるように時系列で板書をしていく。 ☆「じぶんでは～」の後には否定の文、「じぶんで～」の後には肯定の文が入ることを再確認する。 ◎「じぶんでは」「じぶんで」を用いて、人間の赤ちゃんの「うまれたばかりのようす」「大きくなっていくようす」を書くことができる。(書)(ワークシート) ☆実物投影機やデジタルビデオを活用し、写真や資料などを提示しながら具体的なイメージをもつようにする。(●)(情報の共有・比較) ◎学習したことを生かし、動物と人間の赤ちゃんをくらべ、感想を書くことができる。(読む 表現/ワークシート) ◎友だちの感想を聞いて、自分との違いを発表することができる。(関)

10 使用する視聴覚機器

大型テレビ、ノートパソコン(デジタル教科書)、実物投影機、デジタルビデオ

1 1 本時の展開（1 2／1 3）

<本時目標>

動物と人間の赤ちゃんをくらべ、感想をもつことができる。

学習活動と内容	教師の支援（☆）評価（◎）視聴覚機器の活用（●）
1. 前時までの学びを振り返る。 ・問いの文－答えの関係性 ・「じぶんでは」は否定の意味「じぶんで」は肯定の意味の文になる。 2. 学習のめあてを確認する。 ・動物の赤ちゃんと人間の赤ちゃんを比べて、感想を書く。	☆前時までの学習を、掲示物やデジタル教科書を使って確認する。（●）（情報の共有での活用） ☆赤ちゃんブックを見ながら、本時までの学習を振り返られるようにする。
どうぶつと人げんの赤ちゃんをくらべてみよう。	
3. ライオン・しまうま・カンガルーの赤ちゃん、人間の赤ちゃんの「うまれたばかりのようす」と「大きくなっていくようす」をくらべる。 【うまれたばかりのようす】 ・口にくわえてはこんでもらうのです。 ・目はあいていて、耳もぴんとたっています。 ・一円玉ぐらいのおもさです。 【大きくなっていくようす】 ・一ねんぐらいたつと、おかあさんやなかまがするのを見て、えもののとりかたをおぼえます。 ・おちちだけのんでいるのはたった七日ぐらいのあいだです。 ・六か月ほどたつと、ふくろのそとに出て、じぶんで草もたべるようになります。 4. 動物と人間の赤ちゃんを比べて、感想を赤ちゃんブックに書く。 ・ライオンは口にくわえてはこんでもらったけど、ぼくはだっこしてはこんでもらいました。だから、にんげんとライオンはにています。 ・カンガルーは生まれたときはすごくかるいけど、わたしはもっとおもかったです。だから、カンガルーはすごく大きくなることにおどろきました。 5. 感想を発表する。 ・隣の席の友だちと発表し合う。 ・全体で発表し合う。 6. 次時の学習の確認をする。 ・発表の続きを行う。	☆実物投影機やデジタルビデオを活用し、写真や資料などを提示しながら具体的なイメージをもつようにする。（●）（情報の共有・比較） ☆一人ひとり成長のはやさが異なることも確認する。 ◎それぞれの赤ちゃんの似ているところや違うところに気がついて、進んで発表しようとする。（関） ☆書き終わった児童は読み直しをしたり、発表の練習をしたりするよう声をかける。 ◎学習したことを生かし、動物と人間の赤ちゃんをくらべ、感想を書くことができる。（読む 表現／赤ちゃんブック） ☆実物投影機を活用し、話し手が写真や資料などを提示しながら発表できるよう工夫する。（●）（情報の共有・比較）